産学官トップ座談会

成長戦略で次の100年に向けて飛躍

モノづくりの街として発展を遂げた北九州市と、その推進力となってきた北九州商工会議所が、2013年ともに50周年を迎えた。この間深刻な公害や鉄冷えも経験したが、現在では自動車やロボットなどわが国を代表する新産業が活況を呈している。また環境モデル都市として海外にも環境技術を供与するなど、世界で注目される都市に成長した。座談会では北橋健治市長、利島康司会頭両トップに加えて、一足早く2009年に創立100年を迎えた九州工業大学の松永守央学長の産学官3トップを招き、地域活性化策や未来像を語ってもらった。

出席者

北九州市長　北橋　健治氏

北九州商工会議所会頭（安川電機特別顧問）　利島　康司氏

九州工業大学学長　松永　守央氏

《司会》日刊工業新聞社執行役員西部支社長　長野　光博

地域経済再活性化が課題　北橋氏

街にはワクワク感が必要　松永氏

北九州市長
北橋　健治氏

—50周年おめでとうございます。まず現在までの課題をどう認識され、その克服には何が必要かを聞かせて下さい。

北橋　安全・安心なまちづくりや、福祉・医療の拡充などさまざまな問題がある。だが、日本を支える産業都市として発展しただけに東日本大震災に端を発した電力問題で打撃を受けた地域経済を再活性化させることが喫緊の課題だ。一方で、環境モデル都市や経済協力開発機構（OECD）のグリーン成長都市に選ばれるなど、環境とアジアで経済をけん引する環境を整えてきた。今年3月には今後3年間の産業政策の方向性を表す「北九州市新成長戦略」を策定、同戦略を成功させるのも課題だ。そのために行財政改革を着実に進める。もう一点は交流人口を増やすことで若者を中心とした新しいにぎわいを創出したい。建設を決めたサッカーやコンサートなどが行える新球技場や、漫画ミュージアムなどのにぎわいづくりも大きなテーマだ。

—商工会議所も50周年を迎えました。

利島　高齢化が進み得意のモノづくりも下火と言われているが、この街はいいところがたくさんある。北九州は鉄や自動車、半導体などが次々と立地したが、自動車生産は増え続けている。今どき自動車生産が増えているのは国内ではここだけ。高齢化や人口減は日本中どこも同じ。落ち方が激しい点は反省しなければならないが、従来の主力事業を世界のオンリーワンにするにはどうすればよいのかを考えなくては。それには設備投資が必要だ。北九州から企業や事業が出て行くのは、この街が悪いのではなく日本離れが進んでいるから。一方、若者が住みたくなる街にするにはどうすればよいのか。若い人にとっては、福岡市に象徴されるような若者向けのエネルギーが必要だ。そのためにはイベントをたくさん行う必要がある。環境は必要だが環境で人は集まらない。加えて学校の魅力を高めなければならない。例えばロボットの一流技術者になるためには、九州工業大学から安川電機へ行くというモデルができれば優秀な技術者が集まるだろう。

—先に創立100年を迎えられた九州工業大学として意見を聞かせて下さい。

松永　若い人を集めるにはワクワク感が必要だ。今高校生に人気なのが宇宙だが、この分野で雇用されている人は日本で1万しかいない。この分野に力を入れれば、日本だけでなくアジアからも人が集まる。北九州の出身者には知的レベルが高い人が多い。それは安川電機や新日鉄住金、TOTOといった優良企業がこの地にあったから。もはや人を育てるのは大学だけでは無理で、街全体で取り組まなくてはならない。そのためには日本の弱点であるスピード感を高めなくてはならない。この街を愛している人はたくさんいる。日常的に話し合える空間をつくれば、新しい街づくりが可能なのではないか。

北九州商工会議所会頭
利島　康司氏

昼夜を問わずにぎわいを　利島氏

—「北九州市新成長戦略」を策定しました。狙いは。

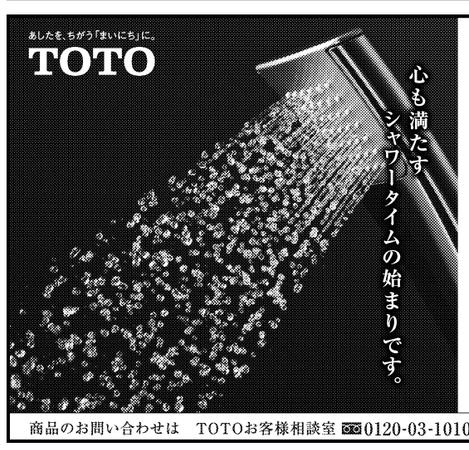
北橋　新成長戦略は、2020年に市内総生産4兆円、市民所得を政令市中位に、3年間で8000人の新規雇用創出—が骨子だ。そのために五つの方向性と18のリーディングプロジェクトを定めた。まずは地域の企業が元気に活動できる環境整備を行う。次いでモノづくりの街として培った強みを生かしたクラスターを形成する。さらにサービス産業振興にも取り組む。ほかにも中小企業の海外支援や地域エネルギーの拠点化も進める。

—3年で8000人の雇用創出ですか。商工会議所としても歓迎なのではないですか。

利島　北九州の強さは何かということを明快にしなければならない。この地で作るメリットが必要だ。北九州は旧八幡製鉄所の時代から大企業と中小企業が一緒に企業活動できる土壌がある。自動車産業は地場部品調達目標を70％と掲げながら、まだ達していない。それは地域の努力が足りないからだ。難しい話かもしれないが、解決のためには眠らない街にする必要があるのではないか。かつて人口が多かった時代は24時間稼働して人が働いていた。昼夜を問わず人が動けば飲食店が増え、街がにぎやかになる。現代は日中8時間のみだから夜になると人が減る。この点を考えて新しい産業を興す必要がある。サービス産業や介護分野、観光など期待できる産業がある。

—大学の考えはいかがでしょうか。

松永　既存の産業と新産業を分けるべきだろう。今後は新産業をどう生み出すべきか、それは産学ともに知恵の絞り時だ。今までは個人の思いだけでやっていた面があるが、日本の強みを理解し、大学が協力できるところはどこかを理解しなくてはならない。若い人がフランクに話し合える場を作る必要がある。利島会頭が観光と話されたが、観光は知恵を絞れる。北九州は風光明媚（めいび）でおいしいものも多いので、この資産を生かさなくては。生かす議論を本気で行って、新成長戦略に上乗せすれば想定外のビジネスが生まれるだろう。市民のパワー、産業界のパワー、皆で知恵を絞ればいずれ基幹産業が育つと期待したい。



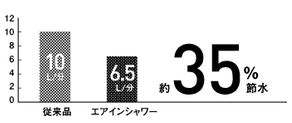
あしたを、ちがう「まいにち」に。
TOTO

心も満たす シャワータイムの始まりです。

空気を含ませることで水滴を大粒化し、たっぷりで気持ちのいい浴び心地を実現。
「エアイン®シャワー」は、快適さをより追求しながら従来品より約35%も節水※2しました。

感性工学に基づき、気持ちよさを感じる水滴を解析。
少ない水で量感たっぷりのシャワーを開発しました。
最適流量※3で比べると、毎分10ℓの使用を6.5ℓにまで節水します。
CO_2も年間約146kg削減し※4、毎日のエコを実現。
水道代＋ガス代で年間約15,300円節約できて家計も助かります※5。

空気を含ませて水の一滴一滴を大粒化
従来品 → エアインシャワー
機構断面イメージ図（空気）



●「エアイン」はTOTO（株）の登録商標です。※1 従来品とは、取り替え対象と考えられる10年以上経過したサーモスタット混合栓＋最適流量10Lの従来シャワーを想定。※2最適流量で比較した数字。※3 最適流量とは、（社）日本バルブ工業会の定める方法により社内モニターにて測定した「一番使いやすいと感じる流量」であり、流量の上限を意味するものではありません。※4 ※5 設定条件は以下になります。【使用人数】＝4人家族【年間使用日数】＝365日【年間水使用量（従来水栓の場合）】＝約58.130L【年間ガス使用量（従来水栓の場合）】＝約171.8㎥＊エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準」における給湯量（東京、4人世帯、床面積120㎡の住宅）から算出【使用料金】＜水道料金＞265円（税込）/㎥ ＊東京都水道局（20A・30㎥/月 上下水道含む）＜ガス料金＞=165円（税込）/㎥ ＊東京ガス（32㎥/月）より【CO_2換算係数】水＝0.59kg/㎥ ＊省エネ・防犯住宅推進アプローチブックより ガス＝2.23kg/㎥ ＊環境省「CO_2みえ～るツール」より【ガス発熱量】45MJ/㎥ ＊東京ガスより

平成25年度 省エネ大賞（資源エネルギー庁長官賞）エアインシャワー
eco products awards 2012 第9回エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ部門 エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞受賞
－W受賞－
TOTO GREEN CHALLENGE

商品のお問い合わせは　TOTOお客様相談室 0120-03-1010　受付時間 9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）　TOTOホームページ www.toto.co.jp

ZENRIN
Maps to the Future
株式会社 ゼンリン　本社：〒803-8630 北九州市小倉北区室町1-1-1
www.zenrin.co.jp

YASKAWA　安川電機は2015年に100周年を迎えます
株式会社 安川電機
北九州市八幡西区黒崎城石2番1号　安川電機　検索

OECDグリーンシティ・プログラム 北九州レポート発表記念会議

10月18日（金）15時～17時

OECD（経済協力開発機構）は経済成長、途上国支援などを目的に、世界34の先進国が加盟する国際機関です。

OECDグリーンシティ・プログラムとは環境と経済が両立した「グリーン成長都市」を世界に広めていく取り組みです。北九州市は平成23年6月、パリ（フランス）、シカゴ（米国）、ストックホルム（スウェーデン）と並び「グリーン成長都市」に選ばれました。

この度、北九州市の取り組みが「日本語版北九州レポート」として発表されることを記念し、国際会議を開催します。他の選定都市の関係者等を迎えて、ディスカッションを行います。

場　　所：北九州国際会議場
お問い合わせ：環境局環境国際戦略課　093-582-3804

一般の方も参加できます（要事前申込）

エコテクノ2013

10月16日（水）～18日（金）10時～17時

西日本最大規模の環境ビジネス見本市です。環境保全やエネルギーなどに関する技術の展示やセミナーを実施します。

従来からの「中小企業テクノフェアin九州」に加え、「再生可能エネルギー先端技術展」「九州・国際テクノフェア」を併せて開催し、規模を大幅に拡大しました。

展示のほかに、著名講師による基調講演やセミナー、環境ビジネス視察ツアーを実施します。

場　　所：西日本総合展示場・新館
お問い合わせ：（公財）西日本産業貿易コンベンション協会　093-511-6800

「北九州エコマンス」に関する最新のイベント情報は　北九州エコマンス　検索

みんなで取り組む環境月間
10月は北九州エコマンス

30を超える環境イベント等が盛りだくさん！

10月
北九州エコマンス

市制50周年で盛り上がる北九州市。今年10月を「北九州エコマンス」と位置付け、様々な国際会議やイベントなどを通して街中をエコ一色に染めます。いろんなエコに見て、触れて、学ぶことができる一ヶ月です。

主なイベント日程

10月4日（金）18時30分～20時30分	タウンミーティング 場　所：北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」2Fホール お問い合わせ：北九州市環境局総務課 093-582-2182
10月8日（火）9時45分～10月30日（水）9時～	楽しく環境に触れるエコツアー 場　所：JR小倉駅出発 10月8日…九州製紙（株） 10月30日…北九州エコタウン お問い合わせ：ジャパン九州ツーリスト（株） 093-521-8897
10月19日（土）10時～18時	第3回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム 場　所：北九州国際会議場 お問い合わせ：北九州市環境局環境国際戦略課 093-582-3804
10月19日（土）9時～17時	第33回地域産学官と技術士との合同セミナー～グリーンビジネスへの取り組み～ 場　所：北九州イノベーションギャラリー お問い合わせ：公益社団法人日本技術士会九州本部 092-432-4441
10月20日（日）10時～17時20分	都市づくりの将来に関する国際会議 場　所：北九州国際会議場 お問い合わせ：北九州市環境局環境国際戦略課 093-582-3804
10月20日（日）～21日（月）	第6回アジア太平洋RCE地域会議 場　所：北九州国際会議場ほか お問い合わせ：北九州市環境局環境学習課 093-582-2784

「北九州エコマンス」に関するお問い合わせ　北九州市環境局総務課　電話：093-582-2204